

平成 30 年度 第 1 回土木計画学委員会幹事会 議事録

日時：平成 30 年 4 月 18 日（水） 13：00～14：50

場所：土木学会 A 会議室

■ 出席者

委員長：屋井鉄雄（東京工業大学）

副委員長：藤原章正（広島大学），奥村誠（東北大学），毛利雄一（IBS）

幹事長：佐々木邦明（山梨大学）

学術小委員長：土井健二（大阪大学），幹事：紀伊雅敦（香川大学）

H30 春大会運営委員会幹事：塩見康博（立命館大学）

委員兼幹事：金森亮（名古屋大学），中道久美子（東京工業大学），平田輝満（茨城大学），柳沼秀樹（東京理科大学），羽鳥剛史（愛媛大学），浅田拓海（室蘭工業大学），谷口綾子（筑波大学），太田恒平（トラフィックブレイン），中矢昌希（中央復建コンサルタンツ）

■ 資料

- [資料 1] 前回幹事会議事録（案）把握
- [資料 2] 学術小委員会報告
- [資料 3-1] 大会運営小委員会報告
- [資料 3-2] 大会運営小委員会報告（別添資料）
- [資料 3-3] 2018 年春大会開催校準備状況報告
- [資料 3-4] 計画学春大会プレナリーセッションの開催について
- [資料 4] CECAR8 in Tokyo 2019
- [資料 5] 「宇沢弘文の社会的共通資本を再考する」シンポジウム
- [資料 6] 平成 30 年度 土木計画学研究院会 名簿
- [資料 7] 研究小委員会対応
- [資料 8] 国際セミナー
- [資料 9] ワンデイセミナー・シンポジウム
- [資料 10] 全国大会研究討論会
- [資料 11] 財務 WG 担当
- [資料 12] 計画学幹事会合宿での議論内容に関するスライド

■ 議事

1. 委員長挨拶

屋井新委員長からの若手から活発な意見を求むとの挨拶がなされた。

2. 前回議事録確認（佐々木）【資料1】

資料1に基づき前回議事録の確認が行われ、承認された。

3. 学術小委員会報告（報告：紀伊）【資料2】

- 土木学会論文集 D3 特集号 Vol. 35 の全投稿数は、217 編（2 月 24 日〆切）となっており、昨年度と同程度であったことが報告された。
- 全論文に対する査読者の割り当ては完了しておるが、査読承諾に時間がかかったため、昨年度より 10 日ほど遅れているが、例年のスケジュール通りに査読の締め切りと判定会議を実施する予定である。

4. 土木計画学研究発表会の準備について（報告：塩見）【資料3】

(1) 春大会（第 57 回土木計画学研究発表会）報告

- 準備は順調に進められていることが報告された。また、新たな取り組みとして企画合同ポスターセッションが開催されることが周知された。
- 例年より各セッションの人数が若干減っているが、発表時間が少なく議論が深まらないとの懸念が示された。
- 大会初日（6 月 9 日）に生協第一食堂を臨時開店して頂くことになったが、開店条件として一定数以上の利用（500 名以上）の利用が求められるため、積極的に利用してほしい。

(2) 秋大会（第 58 回土木計画学研究発表会）報告

- 2018 年 11 月 23 日～25 日にかけて大分大学にて開催することが報告された。
- ポスターセッションならびに優秀ポスター賞を継続して実施する。また、招待講演ならびに懇親会は初日に実施する予定であり、土木学会論文賞および奨励賞の発表後に地元セッションを企画している。
- 前年度に引き続き、チュートリアルセッションを実施したい。企画案があれば塩見委員宛に連絡をして頂きたい。

(3) 春・秋大会の役割分担変更の提案（審議事項）

- 春大会のセッション数の増加による発表時間の減少しており、その一方で秋大会での議論の低調化が見られる。また、発表後に特集号への投稿から掲載までに期間が長いなどの課題が多数存在している状況にあり、春大会と秋大会の実施内容を入れ替えて運用す

る案が提示された。

- 具体的には、春大会は学術論文発表、秋大会は実務論文を含めた企画セッションとチュートリアルセッションを実施することを検討している。ただし、特別セッションは投稿状況を見て継続の判断し、優秀論文セッションは廃止の方針で考えている。さらに、春大会開催の2週間後に特集号への投稿期限を設けて、年内に論文採択通知を出す予定。
- 2019年からの実施を念頭に別紙にて移行スケジュール案が示された。しかしながら移行期間に混乱が生じること、他部門との調整が十分でないことを踏まえて、引き続き実施に向けた検討を行い、次回の委員会です承が得られるように準備を進めることで合意された。

【以下、(3)に関連する議論】

- 今回の改変について想定される問題はあるのか？計画学の方向性として変えることによどのように思うか？
- 春大会の締め切りが3月上旬になるのはかなり忙しい⇒秋大会への投稿を促すのはどうか？⇒投稿が半年遅れることはビジネス・プロジェクト（実務）ものは問題となる
- 3月は学生が卒業するタイミングなので、ちょうどよい
- 全国大会の活性化も必要⇒各論文の役割分担を明確にすべきではないか？
- 春大会・秋大会に留学生が投稿しにくい（HPに英語の説明もない）
- 特集号を年に1回にすることは変えられないのか？⇒査読等の仕事が増えて現在の体制では困難⇒IEEEのようにプロシーディングでも速報性が高い有意義な論文を受け入れる体制は出来ないか？⇒特集号と通常号の位置づけを検討する必要がある。
- 通常号と特集号の差をなくしたほうが良いのではないか？（通常号は大変なイメージ）⇒通常号と特集号の査読体制は別になっているが認識はされていないが、両者に差はあまりないと言えるが、通常号にこれまで以上に論文を受け入れる体制は出来ていない。
- 本件は学術小委員会の中で正式には議論しておらず、本日の議論を踏まえてスケジュール案を再検討したい。

(4) 春大会プレナリーセッションの開催

- 本年度の春大会にて、土木計画学ワンデーセミナーNo.95「土木の『領域』再考と社会的実効性のある学会活動の展開」の内容を紹介する場（ランチョンミーティングもしくは学会初日9:00～10:30）を設けたいとの提案があり、セミナーの内容を踏まえて佐々木幹事長に実施の可否を一任することが承認された。

5. CECAR8 in Tokyo 2019 について（報告：藤原）【資料4】

- 来年4月16日～19日に開催されるCECAR in Tokyo 2019の案内がなされた。土木学会も

- 関係（土木計画系は TS-4-3 を担当）しており，参加を促してほしいとの依頼があった。
5. 「宇沢弘文の社会的共通資本を再考する」について（報告：佐々木）【資料 5】
 - 宇沢弘文先生に関するシンポジウムを企画していることが報告され，計画系の先生が登壇されることから，土木計画学研究委員会が主催として開催することが承認された。
 6. 平成 29 年度幹事担当タスクの検討状況報告
 - (1) 委員会名簿について（報告：羽鳥）【資料 6】
 - 計画学研究委員会名簿について大きな変更がないことが報告された。なお，減災アセスメント小委員会（多々納先生）については 31 年秋まで延長されたことが報告された。
 - (2) 活動評価・中期目標対応：特になし
 - (3) 本委員会・全国大会対応：特になし
 - (4) 研究小委員会対応（報告：柳沼）【資料 7】
 - 計画学小委員会の委員名簿が複数のフォーマットで管理されているため，管理作業が煩雑化しており，負担軽減を目的とした名簿更新方法の検討について報告がなされた。
 - HP 上で名簿を更新する提案がなされたが，計画学の HP 改修を行っているため，これらの作業が終了した後に改めて検討することが決定した。
 - (5) HP 担当（報告：太田）
 - HP（日本語版・英語版）の更新・改修の状況を報告された。春大会頃に旧ページから新ページに移行作業を実施する。
 - 研究発表会の案内・登録・投稿に関する情報は計画学委員会とは別に更新が行われているため，土木学会本体もしくは学術小委員会に確認の上，作業を進める。
 - (6) 国際セミナー（報告：中道）【資料 8】
 - H29 年度の開催状況について報告。年間で 24 回開催（通算 184 回）と増加傾向にある。
 - (7) 国際センター・出版委員会担当：特になし
 - (8) ワンデイセミナー・シンポジウム（報告：平田）【資料 9】
 - H29 年度の開催状況について報告。年間で 5 件であったが，H30 年はすでに 8 件のワンデイセミナーが実施されており，過去最大規模の増加傾向にある。
- (以下議論)
- s
- (9) 全国大会研究討論会（報告：中道・太田）【資料 10】
 - H29 年度全国大会（九州大学）にて実施された「Diversity の視点から見直そう：土木計画学における研究と教育」について議事録ならびに当日の状況について説明がなされた。
 - 参加者は 40 名程度であり，盛況であったとの報告がなされた。

- ・H30 年度全国大会（北海道大学）では「観光と土木 in 北海道（仮）」とした研究討論会を企画していることが太田幹事より報告された。

(10) 総務担当：特になし

(11) 財務 WG 担当（報告：佐々木）【資料 11】

- ・平成 29 年度決算報告（案）について報告された。100 万円ほど余剰金が生じたため、HP やセミナーなどに利用したいと考えている。

(12) 幹事長補佐（報告：佐々木）【資料 12】

- ・H30 年 2 月に実施された計画学幹事会合宿での議論内容について紹介がなされた。

7. その他

(1) 減災・防災委員会からの依頼（報告：佐々木）

- ・計画分野から 1 名推薦してほしいとの依頼があり、減災計画小委員会から推薦して頂くように調整することで承認された。

(2) 高橋裕先生プロジェクト（報告：佐々木）

- ・地球環境に関連する新たなプロジェクトの立ち上げに際して、土木計画学からの参加を募りたいとの依頼があり、詳細が分かり次第に情報を共有するとの報告がなされた。

(3) 外部からの問い合わせについて（報告：佐々木）

- ・外部からの問い合わせ（「歩道と自転車道」に関する内容. 幹事会メンバーにはメールにて共有済み）について、研究発表会にてご発表を頂くことになったことが報告された。

以上